

授業研究会における事前の取組例

取組の過程

○ 指導案作成

授業者は授業日の1週間前までに指導案を作成する。同時に教材研究、教材・教具の準備を進める。

○ 指導案事前検討会

指導案検討会を開き、研究の目的に沿った授業になっているかを協議する。

○ 指導案修正

授業者は、指導案事前検討会での意見を参考に、指導案の修正を行う。

○ 研究授業・授業研究会に向けた資料作成

研究主任は、研究授業・授業研究会のレジюме、プレゼンテーションソフト*による説明資料を作成する。

* プレゼンテーションソフトについては、「2 研究の実際 (3) 校内研究の推進・充実のための方策 ④ 校内研究の進め方・生かし方 APDC Aサイクルの各段階における手立ての工夫ーD実践 c 研究会①プレゼンテーションソフトによる研究会の進行の視覚化」を参照

○ 事前説明会

研究主任は、授業研究会1、2日前までに指導案・授業研究会のレジюмеを**参観者全員**に配布し、以下の点について確認する。

- ① 授業の視点
- ② 授業研究会の進め方
- ③ 役割分担
 - ・ 授業記録
 - ・ ビデオ・写真撮影
 - ・ 拡大指導案・付箋の準備
 - ・ 授業研究会における司会、記録

○ 授業参観

参観者は、授業参観カードを用いて授業の視点を確認しながら参観する。参観時の気づきを、その都度付箋に書く。(ピンク；成果、ブルー；疑問点や課題)



授業参観時に付箋を貼っている様子